



齊藤誠教授 (Ph.D. from MIT)

- 私は、マクロ経済学、ファイナンス理論、リスクマネジメントとさまざまな研究をしていますが、最近、国債市場や貨幣市場を組み込んだ新しい貨幣経済モデルによって、昨今の財政金融政策を評価する研究も展開しています。たとえば...
 - Makoto Saito, *Strong Money Demand in Financing War and Peace: The Cases of Wartime and Contemporary Japan*, Springer (in press), August 2021.
 - 「貨幣財需要としての公債需要：不均衡分析から見た過去四半世紀と将来の日本経済」、齊藤誠、『金融経済研究』近刊。
 - 最近、国際貿易・国際金融の権威ある雑誌 *Journal of International Economics* に公刊された論文は、名古屋大学の広報からプレスリリースされました。
 - [なぜ米国は外国から莫大な借金をしても維持可能なのか？ 本国通貨で外国から借金できるメリット](#) ("International capital flows, portfolio composition, and the stability of external imbalances," Michael B. Devereux, Makoto Saito, and Changhua Yu)
 - 研究書や学術論文だけでなく、一般向けの書籍も公刊しています。最近も、『教養としてのグローバル経済：新しい時代を生き抜く力を培うために』（有斐閣、2021年5月刊）を出版しました。



■ 修士院生の指導方針

【博士後期課程に進学して研究者としての活躍を目指す院生】マクロ経済学と金融理論を専攻する院生に対して、重要な論文を読み込み、必要となる高いレベルの計量手法の訓練をし、査読論文掲載を目的とした指導を厳しく行います。

【修士修了後、社会での活躍を目指す院生】私の専門に関わらず、経済学修士取得を目指す院生に対して、広く経済現象に関心を持ってもらうために、専門性が極度に高くない書籍の輪読をします。2022年度は、トマ・ピケティ『21世紀の資本』（みすず書房）に取り組みます。輪読と並行をして、論文の読み方、データの取得の方法、基本的な統計処理のトレーニングを行い、適度なレベルの修士論文を仕上げることを目標とします。

Advances in Japanese Bu

Makoto Saito

Strong Money Demand in Financing War and Peace

The Cases of Wartime and Contemporary Japan

Springer